

特定非営利活動法人ティラファーム

令和1年(平成31年)度、事業報告書

法人4期目、事業3期目
平成31年4月1日～令和2年3月31日

令和2年5月9日

●令和1年(平成31年)度、障害者就労継続支援A型事業の活動について

障害福祉サービス、就労継続支援A型事業を開始してから3年目を迎えた。新たに4人のキャストが採用したが、体調面の理由により3人の方が退所され、結果11名と、去年度より1人増員となった。(令和2年3月時点)



ホームページを開設しティラファームの事業内容を紹介している。ブログにて最新の作業取り組みを紹介し、キャスト・スタッフ募集の一端を担っている。

作業は近隣牧場から依頼を受け花壇の草取り、無農薬野菜作り、鶏卵洗い、商品シール貼り、ハーブ採取を行っている。去年と比べ作業の正確さや速さが増し、依頼先からの信頼度が増している。



より確実にキャスト支援するため、新たにスタッフ1人採用した。任せられる作業数も増え4班体制で午前午後と作業内容が変わり、多い時で一日に8つの作業を行うこともある。

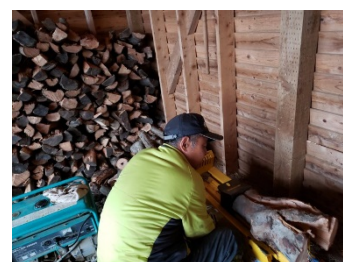


夏はとにかく暑い日が続き、全国各地で熱中症による体調不良者が続出した。スタッフが様子を見て休憩と水分補給を一日に何度も行っていった。施設外就労先の協力により氷を分けて頂き、かち割り氷を作り、キャストへ配布した。熱中症になる人はいなく暑い夏をのり切った。



牧場内作業は虫刺され、蜂刺されが付きものであり、作業前にハチの巣が無いかチェックしてから作業開始している。即効性の蜂退治スプレーも用意し、蜂刺されを防いでいった。

冬季作業は以前、作業不足の心配があったが、作業能力も高まり任せられる作業も増えたため去年より農園作業が増えた。それと薪販売を開始し、薪割り作業もあり作業不足の心配なく冬季を過ごせた。



スタッフ育成として各スタッフ、福祉職研修に参加していった。また来年度から始まるブドウ育成のため、ブドウづくり研修会へ参加し農業知識習得していった。

今期の見学者は14人。実習者は12人と過去最高の人数となった。その中で採用まで結びついたのは4人であった。実習者には今の実力を把握したい目的で行う方もおり、本人の糧となるよう各機関、学校からの実習を受け入れている。実習期間をこれまで5日間としていたが、その期間だけでは能力を測れない事が多々あり、実習期間10日間行うと定め直した。

見学者	5月9日	男性	40代
	5月23日	女性	35才
	6月18日	女性	20代
	6月24日	男性	40代
	6月25日	男性	50代
	7月9日	男性	20代
	8月7日	女性	20代
	8月20日	女性	40代
	8月28日	男性	20代
	9月5日	女性	40代
	10月16日	男性	20代
	1月16日	女性	20代
	2月6日	男性	20代
	2月13日	女性	60代
平成29年度見学者8人 平成30年度見学者12人 令和1年度見学者14人			

実習者	4/6~12	男性	40代
	5/13~17	男性	50代
	7/8~12	女性	20代
	7/15~19	男性	50代
	7/22~26	男性	20代
	9/2~9/13	女性	20代
	9/9~13	男性	20代
	11/4~11/8	男性	20代
	11/18~11/22	男性	30代
	11/18~11/22	男性 2回目	20代
	2/25~3/6	男性	20代
	3/9~19	女性	60代
	平成29年度実習者11人 平成30年度実習者9人 令和1年度実習者13人		

●今後の検討事項として

3月末でキャスト11名であるが、年間を通して大量の仕事をお願いするにはまだまだキャストが足りない状態である。障がい者の活躍の場を広げるためにもキャストの増員に力を入れていく。

新規事業として就労継続支援B型、就労移行支援について調査していく。

●キャスト・スタッフ構成(令和2年3月現在)

就労継続支援 A 型事業(定員20名)

- ・キャスト11名利用中
- ・年間キャスト出勤率80.6%

職員(スタッフ)5人。

- ・管理者兼サービス管理者1人。
- ・生活指導員2人
- ・作業指導員2人